

小国町立病院外来診療体制

平成30年9月1日現在

診療科	午前 午後	受付	診察	診察室	月	火	水	木	金
内科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00	一診	山形大 柳谷(稜)3日 鈴木(佑)10日	伊藤副院長	伊藤副院長	渡邊 敏治 13日は休診	伊藤副院長
				二診	阿部院長	山形大 奥本(和)	阿部院長	阿部院長	渡邊 敏治 ※検査終了後 14・28日は休診
	午後	14:00-15:00	14:30-15:30	一診	伊藤副院長				
				二診	渡邊 敏治 10日は休診	伊藤副院長 (予約のみ)		渡邊 敏治 13日は休診	渡邊 敏治 14・28日は休診
小児科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00	山形大 安孫子(雅)3・10日	山形大 藤井(隆)4・11・日 須藤(陽)18・25日	山形大 横山(淳)5・19日 小林(信)12・26日	山形大 目黒(亨)6・27日 森(福)13・20日	山形大 栗野(裕)7・21日 中村(和)14・28日	
	午後	13:30-14:30	13:30-15:00 (14:30まで待合室 にお越しください)						
整形外科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00		公立置賜総合 根本(信)4・18日 松木(宏)11・25日		公立置賜総合 長谷川(浩)6・20日 大樂(勝)13・27日	山形大 遠藤(誠) 14・28日	
産婦人科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00					山形大 堀川(翔) 28日は休診	
外科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00	山形大 蘆野(光)3日 柴田(健)10日					
	午後	13:30-15:00	14:00-15:30		櫻井 文明	櫻井 文明	櫻井 文明		
眼科	午前	8:00-11:30	10:00-13:00		山形大 富樫(敬) 11日は休診				
耳鼻 いんこう科	午後	12:30-16:00	13:30-16:30 (16:00まで待合室 にお越しください)	山形大 寺田(小)		山形大 後藤(崇) 5・12・26日 阿部(靖)19日		山形大 齊藤(史) 7・14・21日 渡邊(千)28日	

診療科	午前 午後	受付	診察	月	火	水	木	金	土	日祝
歯科 (予約制) ☎62-2513	午前	10:00-12:30	10:00-13:00	休診	飯田 俊也	飯田 俊也	飯田 俊也	飯田 俊也	飯田 俊也	飯田 俊也 15・22日は休診
	午後	14:00-18:00	14:00-18:30		新潟大 渡辺(真)4・18日 金丸(祥)11・25日	新潟大 佐久間(美)5・19日 片桐(涉)12・26日	新潟大 長谷部(大)6・27日 竹内(涼)13・20日			

予防歯科や口腔外科の先生もおりますので、お口の中のこと全般にご相談ください

※外来診療体制は変更になる場合がありますので、電話で問い合わせてください。

診療日変更等のお知らせ

内科	渡邊医師	9月10日(月)~14日(金)、28日(金) 休診 ※午後のみ他医師の代診あり
	今 医師	9月5日(水) 休診 ※他医師の代診あり

眼科	9月11日(火) 休診
産婦人科	9月28日(金) 休診
小児科	9月7・28日(金) 午後休診 (町の乳幼児健診のため)
歯科	9月15・22日(土) 休診(振替休診)



小国町立病院

http://www.ogunibyoin.jp/

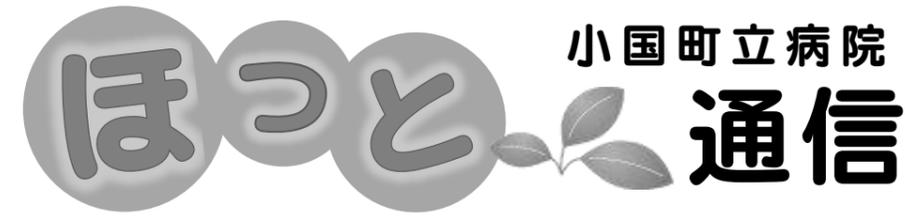
〒999-1356 西置賜郡小国町大字あけぼの一丁目1番地

☎.0238(61)1111 FAX.0238(61)1115

歯科直通 0238(62)2513

小国町立病院

検索



小国町立病院

通信

平成30年9月1日発行

第59号

発行：小国町立病院情報管理委員会

私たちは 地域の方々とともに歩み 医療を通して 安心のある地域づくりに貢献します

10月1日から 診療体制変更のお知らせ

10月より内科と整形外科の診療体制が次のとおり変更になります。

<内科外来診療について>

毎週木曜日と金曜日の午後の外来を休止します。なお、急患の診療は現行どおり行います。(毎月第2及び第4木曜日の午後の外来は現行どおり行います。)

<内視鏡検査について>

- 変更前 月・火・水・金曜日の4日間
- 変更後 月曜日と水曜日の2日間

【内科・整形外科外来診療体制 10月1日~】

診療科		月	火	水	木	金
内科	午前	阿部院長 伊藤副院長 鈴木 佑弥 柳谷 稜 (週交替)	伊藤副院長 奥本 和夫	伊藤副院長	阿部院長 伊藤副院長	伊藤副院長
	午後	菅原 心平	奥本 和夫	今 孝志	渡部 賢 後藤 準 (第2・4週で交替)	
内視鏡検査		菅原 心平		今 孝志		
整形外科	午前のみ		根本 信太郎 松木 宏史 (週交替)		長谷川 浩士 大樂 勝之 (週交替)	高野 満夫 (月2回)

※下線が変更となります。受付時間、診療時間に変更はありません。

- 平成30年4月から内科常勤医として勤務していた渡邊敏治医師が9月いっぱいまで異動になり、10月より菅原心平医師が毎週月曜日診療にあたります。
- 整形外科の金曜日担当の遠藤誠一医師が異動になり、10月より高野満夫医師が診療にあたります。

皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

「医療の現場から」では、医師や看護師などの医療現場のスタッフから、医療に関する情報をお知らせします。

ごとうたかなり
耳鼻いんこう科の後藤崇成医師から『中耳炎』に関するお話です。

急性中耳炎とは

鼓膜の奥にある中耳という部分に細菌やウイルスが入り、炎症がおきる病気です。

中耳には鼻の奥に通じている耳管じかんがつながっています。細菌やウイルスが耳管を通して中耳に入ると、中耳の粘膜に急性に炎症をひきおこします。急性中耳炎はかぜをひいたときなどの鼻やのどの炎症に引き続いておこることが多く、特に小さなお子さんに多く見られます。



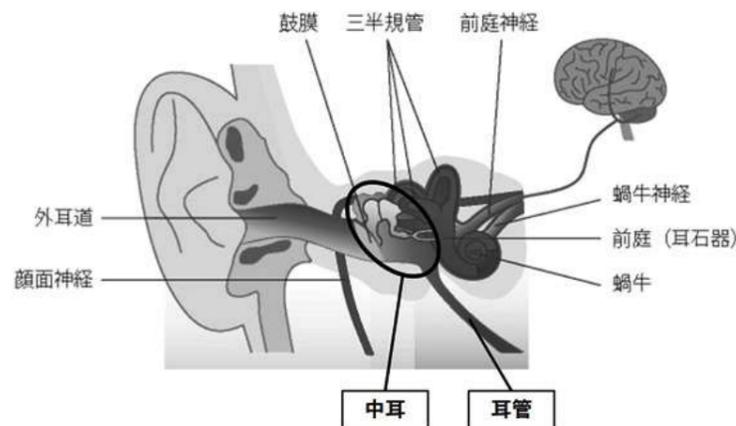
耳鼻いんこう科 水曜担当
後藤 崇成医師

症状

ズキズキする耳の痛み、発熱、耳だれ（耳漏）、耳がつまった感じなどが起こります。乳児では痛みを訴えられないために、機嫌が悪くぐずったり、しきりに耳に手をやったりすることがあります。

診断

耳鼻いんこう科医が鼓膜をみて、鼓膜が赤かったり、腫れたりしていることを確認します。また、中耳に膿がたまって、鼓膜がふくれていることもあります。



治療

抗生物質や消炎剤などの薬を服用します。膿がたまって鼓膜の腫れがひどく痛みが強いときや、熱が高いときは鼓膜を少しだけ切って、たまっている膿を出すと早く治ることもあります。耳鼻いんこう科医の診察で、軽症で自然に治癒する可能性が高そうな場合には、抗菌薬による治療を行わずに経過をみる場合もあります。

大人の場合

大人のかたで耳の痛みや耳だれ、耳がつまった感じがある場合、急性中耳炎ではない病気の可能性もありますので、耳鼻いんこう科を受診してください。

耳の痛みがあるときには、まずは耳鼻いんこう科に相談してみてください。

私の仕事

病院では、医師を中心とした様々な専門職が1つのチームになり、医療を提供しています。医療現場の裏側を交えて、当院の職員の仕事を紹介します。



清掃担当
渡部 トヨ子
(平成 14 年入職)

一日の仕事の流れを教えてください

私たち清掃担当は、9人で病院、健康管理センター、温身の郷の3施設の清掃業務を行っています。

清掃業務はトイレ掃除と部屋掃除に大きく分けられます。トイレ掃除は、午前には外来患者さんの支障とならないように2階のトイレ掃除を中心とし、1日かけて3施設すべてのトイレを清掃します。部屋掃除は、午前は病棟や2階の各部屋のゴミ集め、床の清掃、シンクまわりの清掃をし、午後からは風呂掃除や2階と同様に1階の清掃をします。9人がトイレ掃除と部屋掃除に分かれ、1週間サイクルで交換します。

その他、ゴミの管理、外回りの落ち葉やゴミ拾い、冬場は除雪なども行います。

特に家庭の清掃と違うところはどんなところですか？

施設の清掃では、医療安全や感染予防対策の役割も担っており、除菌に重点を置いていることでしょうか。人の手が触れる部分は専用の除菌ペーパーを使って拭き取りを行い、菌が繁殖しにくい環境をつくるようにしています。また、清掃のプロとして外部の講師を招いた勉強会や、医療安全委員会と協力した吐物処理の研修も行っています。



3施設全ととなるとトイレ掃除も一日がかりの作業となる。

一番の苦勞は何ですか？

いつ汚れるか気が抜けないことです。常に施設の見回りをし、汚れがあればすぐに対応できるようにしています。

また、施設を利用する人は毎日いるので、清掃も休むわけにはいきません。9人で毎日決まった清掃をこなさないといけないので、体調管理にも気を使います。

あとは、私は手が荒れることですね。手袋はしますが、どうしても手荒れします。



「いつも気持ちよく使ってもらえるように」と常に心の中に。

仕事のやりがいを教えてください

忙しくとも、全ての清掃をこなしたときには達成感があります。

あとは、患者さんや利用してくれるかたからお褒めの言葉をもらった時は、やっぱりうれしいです。

初動から避難までの動きを再確認

～火災避難訓練～

Topics
出来事・話題



発生元を確認し初期消火にあたる訓練

火災を想定した避難訓練を8月24日(金)に実施しました。

この日は、職員の少ない夜間に1階機械室から出火したとの想定で、火元確認後の火事ぶれ、通報などの初動から、院内の防火設備を使用しながら患者さん役を避難させる訓練を行いました。

その後、実際に水を噴射する練習用の消火器を使い、消火器の取り扱いの演習を行いました。

訓練終了後、西置賜行政組合消防本部のかたより、お互いに声出し確認しながら一つひとつの動作を行うことや初期消火に失敗したらすぐに

火元から水平避難させること、自分の安全を確保しながら避難誘導することなどについてお話しをいただき、職員は、避難誘導の流れについて再確認しました。